

四択練習問題 16 問

点数

点 合格 10 点以上

1 あ 3-101 関節可動域について正しいのはどれか。

1. 股関節屈曲： $0^{\circ} \sim 45^{\circ}$
2. 膝関節屈曲： $0^{\circ} \sim 90^{\circ}$
3. 肘関節屈曲： $0^{\circ} \sim 145^{\circ}$
4. 手関節掌屈： $0^{\circ} \sim 40^{\circ}$

2 あ 4-98 関節の正常可動範囲で正しいのはどれか。

1. 肩関節屈曲： $0^{\circ} \sim 70^{\circ}$
2. 手関節掌屈： $0^{\circ} \sim 40^{\circ}$
3. 股関節屈曲： $0^{\circ} \sim 70^{\circ}$
4. 足関節底屈： $0^{\circ} \sim 45^{\circ}$

3 あ 12-100 関節可動域で誤っている記述はどれか。

1. 肩関節屈曲は伸展より大きい。
2. 手関節橈屈は尺屈より大きい。
3. 股関節外転は内転より大きい。
4. 足関節屈曲は伸展より大きい。

4 あ 14-96 関節運動と最大可動域との組合せで正しいのはどれか。

1. 肩関節外旋 — 45 度
2. 前腕回内 — 10 度
3. 股関節外旋 — 45 度
4. 足関節屈曲（底屈） — 20 度

5 あ 18-92 関節可動域について正しい記述はどれか。

1. 頸部の伸展（後屈）は屈曲（前屈）より大きい。
2. 肩関節の外旋は内旋より大きい。
3. 手関節の屈曲（掌屈）は伸展（背屈）より大きい。
4. 股関節の伸展は屈曲より大きい。

6 あ 19-95 基本肢位における関節可動域角度で正しいのはどれか。

1. 肩関節外転 30 度
2. 肘関節屈曲 90 度
3. 膝関節伸展 20 度
4. 足関節背屈 0 度

7 あ 20-93 関節可動域で正しいのはどれか。

1. 足関節底屈： 0 度 ~ 10 度
2. 前腕回内： 0 度 ~ 30 度
3. 膝関節屈曲： 0 度 ~ 60 度
4. 肩関節外転： 0 度 ~ 180 度

8 あ 16-93 徒手筋力テストで MMT3 以上の場合に側臥位で測定するのはどれか。

1. 中殿筋
2. 腸腰筋
3. 大腿四頭筋
4. 前脛骨筋

9 あ 18-93 肩関節運動に対する徒手筋力テストの際、MMT 2 を評価するとき側臥位で実施するのはどれか。

1. 伸展
2. 外転
3. 内旋
4. 外旋

1 0 はき 10-89 関節運動で伸展 40° が可能な関節はどれか。

1. 肩関節
2. 肘関節
3. 股関節
4. 膝関節

1 1 はき 8-92 関節可動域測定で誤っている記述はどれか。

1. 肩の屈曲は肩峰を通る床への垂直線を基本軸とする。
2. 手関節の屈曲は橈骨と第 5 中手骨との角度を測る。
3. 股関節の外転は大腿中央線を移動軸とする。
4. 膝の屈曲は大腿骨と腓骨との角度を測る。

1 2 はき 3-91 関節運動が重力に抗して全可動域にわたり可能となる最小の筋力はどれか。

1. 筋力 1
2. 筋力 2
3. 筋力 3
4. 筋力 4

1 3 はき 14-89 大腿四頭筋の徒手筋力テストの際、被検者を側臥位で評価しなければならない筋肉はどれか。

1. MMT0
2. MMT2
3. MMT3
4. MMT5

1 4 はき 17-84 徒手筋力テストで筋の収縮はみられるが、関節運動は起こらないのはどれか。

1. MMT1
2. MMT2
3. MMT3
4. MMT4

1 5 はき 25-81 中殿筋のMMTについて正しい組み合わせはどれか。

1. MMT1 —— 中殿筋に筋収縮がみられる。
2. MMT2 —— 重力に抗して股関節外転を保持できる。
3. MMT3 —— 中等度の抵抗に抗して股関節外転を保持できる。
4. MMT4 —— 高度の抵抗に抗して股関節外転を保持できる。

1 6 はき 18-87 筋力MMT2 の関節運動に対し筋力増強目的で運動療法を行う場合に、最も適切なのはどれか。

1. 他動運動
2. 自動運動
3. 自動介助運動
4. 漸増抵抗運動